

福島町議会議員の評価

評価期間：平成19年1月～12月

評価の分類：○＝「ほぼ満足」　△＝「努力が必要」　▲＝「さらに努力が必要」

| | | | |
|-----------------------------------|------|------|----|
| 所属委員会・役職名 | 在職年数 | 氏名 | 年齢 |
| 議長（渡島西部広域事務組合議会議長） 総務教育常任委員会委員 | 29 | 溝部幸基 | 60 |

| 評価項目 | 具体的な項目 | 評価 | |
|--------------|--|-----------|-----------|
| | | 取組み 評価 | 結果 の評価 |
| 1. 行政分野の取り組み | ・町村合併については、まず単独で進む方法を真剣に検討 | △ | △ |
| | ・合併処理浄化槽方式の推進（全国浄化槽技術研究集会参加、小河川流域を限定した合併浄化槽の早期着手を提言） | △ | ▲ |
| | ・町民協働の参加意識をもつ「町づくり基本条例」の制定 | △ | △ |
| | ・行政情報の公開・共有の積極的推進 | △ | ▲ |
| | ・広域行政の連携推進 | △ | △ |
| | ・行政サービスの効率的な運営への提言（外部委託、時間差出勤等） | △ | ▲ |
| | ・防災対策の提言（災害弱者・訓練・冬季対策等） | △ | ▲ |
| 2. 財政分野の取り組み | ・補助金の抜本的見直し提言 | △ | ▲ |
| | ・財政健全化への取り組み（電算システム経費節減、平日投票実施による経費節減、予算書書式の改良等提言） | △ | ▲ |
| | ・議長交際費の削減（飲食会費、負担金の自己負担等） | ○ | ○ |
| 3. 経済分野の取り組み | ・新しい仕事に挑戦できる支援システムの創設 | ▲ | ▲ |
| | ・「福島ブランド」の開発（異業種連携等による） | △ | ▲ |
| | ・地球温暖化対策の提言（リサイクル、生ごみ堆肥化、森林整備等） | △ | ▲ |
| | ・インターネット販売（地場産品）の推進（町HPの積極的活用等） | △ | ▲ |
| 4. 福祉分野の取り組み | ・「健康な町づくり」（全町的な取り組み）で医療費の節減 | △ | △ |
| | ・予防医療の推進 | △ | △ |
| | ・在宅介護支援体制の整備 | △ | △ |
| 5. 教育分野の取り組み | ・子どもや高齢者が参加する幅広い生涯学習の推進 | △ | ▲ |
| | ・社会教育施設の利用促進 | △ | ▲ |
| | ・「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をもった自治活動の推進 | △ | ▲ |
| | ・幼児教育問題（吉岡幼稚園存続問題、認定こども園設置等）への提言 | △ | △ |

| | | | |
|-------------|--|---|---|
| 6. その他の取り組み | ・議会基本条例の制定 | △ | △ |
| | ・インターネットでの議会公開 | △ | ▲ |
| | ・ホームページの開設 | ○ | ○ |
| | ・出前議会の開催 | △ | ▲ |
| | ・議事録公開のスピードアップ | △ | △ |
| | ・議会、議員活動の評価システム導入 | △ | △ |
| | ・わかりやすく、すみやかに説明が出来る議会の実現 | △ | △ |
| | ・活発な討議(討論)ができる議会の実現 | △ | △ |
| | ・政策的な提案のできる議会の実現 | △ | ▲ |
| | ・シンポジウム(パネラー)への参加(早稲田大 125 周年記念、地域科学研究会) | ○ | ○ |
| | ・各種行事等への参加 (77 件)、実活動日数 (259 日) | ○ | ○ |
| | ・視察の受け入れ対応(小野市、白山市等 9 市町議会) | ○ | ○ |